

富士川町

第 65 号

令和8年(2026年)7月24日発行



議会だより

守り育てる
ふるさとの花

- 新生12人の議員紹介 p.2~3
- 第2回定例会 p.6~7
- 一般質問 p.10~14
- 議会モニター紹介 p.15

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



未来へ躍動する、
富士川町議会 !!

新生12人の 議員たちを紹介

議員一人ひとりが十分に議論を尽くせる環境づくりに努め、公平公正な議会運営を心掛けてまいります。また、町民の皆さまに身近で信頼される開かれた議会を目指し、議員の皆さまと力を合わせながら、より良いまちづくりに取り組んでまいります。町民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、この声を町政へつなげてまいります。

鮫田 洋平 議長

皆さまの声を大切にしながら、「夢と希望の持てる町」「安全・安心に暮らせる町」の実現に向け、これからも全力で頑張ります。

堀内 春美 議員

増穂商業高校の跡地を教育の聖地として残す事が私の議員として最後の仕事です。ガンバります。

小林 和良 議員

現場の声をキャッチ!!
行政を公平にチェックし、提言を重ねながら「消滅可能性自治体なんて言わせない」町づくりを進めます。

斉藤 欽也 議員

抱負「脳と体はいつまでも若く」
町の現状と課題の提案、共に考え歩む。町民の代弁者として、信念を貫く。私の議会報告にご意見を。

平田 桃子 議員

一年目だからこそ出来ること、とことんやってみます。「なんで? どうして?」を対話を通して「へー! なるほど!」に変えてみたい。

※安岡から平田に名字の変更がありました。



山本 和志 議員

「生涯」誰しもが安心して暮らせるまちづくりをめざします！ 町民の皆さまの声をたよりに町政に反映し実行を進めます。



深澤 一幸 副議長

誠実が一番

目指すのは、喜びと幸せを感じられる町づくりです。

望みを叶えられた時こそ幸せを実感できる時ではないでしょうか。



秋山 仁 議員

小さな声を大切に！！
地域が一体となった協働のまちづくりを目指し、若者に夢と希望、高齢者が安心する町の実現に向け働きます。



小林 有紀子 議員

一人の声に寄り添った住民福祉の向上。町民と一体での防災減災対策を推進。多様性を尊重し、人権が守られる平和なまちづくりを。



宇田川 朱恵 議員

0歳から100歳＋未来の町民がわくわく住める富士川町へ。環境にやさしい町づくりを提案します。



望月 眞 議員

現状と課題・将来展望・財政を踏まえた議論と政策提言を。

みんなの声、こどもたちの声を大切に、町政に反映させます。



樋口 正彦 議員

地域で培った経験と行動力を活かし、皆さまの声を町政へ届け、共に未来へ進むまちづくりに取り組みます。

スタートしました！

町民の
皆さまと
ともに

議会 運営委員会

- 委員長
望月 眞
- 副委員長
堀内 春美
- 委員
小林 有紀子
小林 和良
深澤 一幸
宇田川 朱恵



円滑で効率的な議会運営・議事進行を行うよう取り組みます。町長から提案される議案について確認し、本会議や臨時会の会期や議事日程などスケジュールを決定します。

一部議案および陳情や請願については、必要に応じて委員会に審議を付託します。

議長の諮問に応じて、一般質問の通告内容を検討します。通告者の意向を尊重し、よりの確な質問になるよう調整します。一般質問力や質疑力の向上を図ってまいります。

ひとづくり 常任委員会

- 委員長
宇田川 朱恵
- 副委員長
山本 和志
- 委員
斉藤 欽也
望月 眞
深澤 一幸
樋口 正彦



担当分野

下記所管について、調査や審査を行っています。

調査・提言

皆さまから寄せられた声から、課題と思われるものについて調査をし、町へ改善の提言をしていきます。現在の取り組み事項として、こども議会を行い、主権者教育の在り方やこどもの意見表明権について取り組んでいます。

より良いまちへ

条例や政策の研究、他市町村の先進事例の学習や視察を行い、町民のみなさんへ還元します。

所 管

政策秘書課、財務課、町民生活課、福祉保健課、子育て支援課、教育委員会、監査委員会
公平委員会、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会

新体制での議会が

まちづくり 常任委員会

■委員長

小林 和良

■副委員長

小林 有紀子

■委員

堀内 春美

秋山 仁

平田 桃子



担当分野

下記所管について、調査や審査を行っています。

調査・提言

町の施策や事業の実態を調査し、課題の把握や改善に取り組みます。また、予算などを審査し、町民目線で提言や意見を行います。

より良いまちへ

研修や視察を通じて知識を深め、住み続けたいまちづくりの実現に向け、委員一丸となって活動します。

所 管

管財課、税務課、防災交通課、産業振興課、土木整備課、都市整備課、上下水道課、会計課
農業委員会

広報 常任委員会

■委員長

小林 有紀子

■副委員長

秋山 仁

■委員

深澤 一幸

山本 和志

樋口 正彦

平田 桃子



定例会後に年4回発行する「議会だより」の作成において、議会の内容や活動などを、わかりやすく見やすい紙面づくり、町民に寄り添った紙面づくり、町民参加の紙面づくりに、広報委員全員が一丸となって、挑戦してまいります。

編集方針

1. 読者(住民)の立場にたったの編集姿勢を基本とする。
2. 町当局に対するチェック機関としての議会の姿勢を貫く。
3. 議員(委員)自らの考えで編集し、町当局に対する遠慮や馴れ合いを排す。

6月定例会 で決まったこと

令和8年第2回定例会を6月5日から12日までの8日間の会期で開催し、報告案6件、専決処分承認案7件、条例改正案4件、補正予算案3件、契約締結案1件、道路認定案1件、人事案2件を全会一致で承認・可決した。

また6つの特別委員会の設置について議員発委において議決した。

公共ライドシェア実証実験事業費を予算化!!

● 一般会計補正予算 6,099万円

● 補正後の予算総額 109億3,028万円

おもな一般会計補正予算

◆ 過年度分物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金返還金	3,000万円
◆ 一般コミュニティ補助金	110万円
◆ ふるさと自治活動応援交付金	90万円
◆ 公共ライドシェア実証実験事業	248万円
◆ リニア側道物件補償	500万円
◆ (防災対策)コミュニティ補助金	160万円
◆ 町民会館キュービクル交換工事	660万円
◆ 過疎地域持続的発展基金積立金	1,220万円
◆ その他	111万円

人事案 2件

カラマツオ外三十山
恩賜林保護財産区
管理会委員(敬称略)

- ・ 大庭 健司
- ・ 柳澤 育雄



一般車両を活用したライドシェア
(京都府京丹後市の様子)



小林区に設置予定の防災倉庫

富士川町議会改革特別委員会

- 委員長 望月 眞
- 副委員長 堀内 春美
- 目的

町民に信頼される開かれた議会を目指し、議会機能の強化及び議会運営の充実に向け、調査研究を行う必要がある。

富士川町議会富士川町 こどもの権利条例推進特別委員会

- 委員長 宇田川 朱恵
- 副委員長 平田 桃子
- 目的

条例理念の確保を図り、こどもの権利が尊重されるまちづくりを推進するため、調査研究を行う必要がある。

富士川町議会 中学校整備検討等特別委員会

- 委員長 望月 眞
- 副委員長 山本 和志
- 目的

新校舎整備をはじめ、教育環境の充実や周辺環境整備など、検討すべき課題がある。生徒が安心して学べる教育環境の整備に向け、調査研究を行う必要がある。

富士川町議会 リニア対策特別委員会

- 委員長 秋山 仁
- 副委員長 樋口 正彦
- 目的

環境対策や地域振興、防災対策など、本町に関わる様々な課題があり、町民の安全・安心に資するため、調査研究を行う必要がある。

富士川町議会増穂商業高校跡地 活用検討特別委員会

- 委員長 堀内 春美
- 副委員長 深澤 一幸
- 目的

地域活性化や公共的活用の観点から、有効活用に向けた検討が求められている。今後も県及び町と連携を図りながら活用方策について調査研究を行う必要がある。

富士川町議会 BCP作成特別委員会

- 委員長 小林 和良
- 副委員長 小林 有紀子
- 目的

災害時等において、迅速な議会对応の重要性が高まっている。議会機能を維持し、議会の役割を継続的に果たすため、調査研究を行う必要がある。

全国町村議会議長会自治功労者 表彰 山梨県町村議会議長会優良町村議会

全国町村議会議長会自治功労者として、富士川町議会議員2名が表彰されました。

鮫田 洋平 議員

斉藤 欽也 議員

また、山梨県町村議会議長会優良町村議会として富士川町議会が表彰されました。



6月定例会

質 疑

問 株式会社富士川(道の駅)から、町への納入金額は。

答 令和7年度は配当金140万円、納入金1,070万円、施設貸付料1,915万4千円である。

問 町から株式会社富士川に支払っている金額は。

答 つくたべかんの施設管理委託料として206万円を支払った。

問 株式会社富士川が町民に配布するクーポン券の利用率が48%にとどまっている、町はどうとらえているか。

答 10年前は利用率25%でスタートした。道の駅では目標を50%に掲げているが48%まで上げてきているので一定の評価をしている。

問 介護予防・生活支援サービス事業費が、1,406万9千円減となっているが。

答 前年度を基に予算を計上しているが、今年度の実績が下回ったために減額になった。

問 いじめ問題専門委員会に弁護士を新たに入れるのは。

答 1名が退任になったが、公平性を期するため弁護士を入れた。

問 いじめ問題専門委員会の報酬の内訳は。

答 弁護士が30回、他の委員が20回の合計で65万円である。

問 環境性能割(車購入時に課税)の廃止による町の影響は。

答 年間約400万円程度の減額となる。

問 3月の予算で成立したキュービクル工事が、600万円追加になったのは。

答 物価高騰のためである。キュービクル内部の部品が30%・40%上昇している。



キュービクル
高圧の電気を低い電圧に変える装置

問 町内学校施設LED照明リース料を10年間としたのは。

答 負担の平準化ということをまず念頭においた。

問 過疎地域持続的発展特別事業債を、基金に積み立てる理由は。

答 過疎債のソフト事業分の限度額上限まで、基金に積み立てることができる制度があるので。

問 富士川中学校空調設備・設置工事に、入札件数が1件しかなかった、原因は。

答 公平性、透明性を確保したうえで、広く参加を募ったが、結果として1社の応札となった。

問 完成が、令和8年12月28日となっている、夏の暑い時期には間に合わないのか。

答 学校施設環境改善交付金を活用した事業で、4月21日に内定を受けた。交付決定前の着工はルール違反となる、完成には5・6か月かかるので、夏には間に合わない。



エアコン室内機(イメージ)

問 公共ライドシェア実証実験の予算の中に、保険的な予算は組まれているのか。

答 実証実験自動車保険料が組まれている。

問 開発地域の行き止まりの道を、町道にするのはふさわしくないのでは。

答 開発行為による公共施設については、適正に管理することを確保するため市町村に属することが都市計画法に規定されている。また、町の開発条例に基づいた道路構造であるため認定する。



認定された町道長澤39号線(若宮神社西)

令和8年 第3回 臨時会

令和8年第3回臨時会を4月27日に開催した。
契約締結案1件、人事案2件を慎重審議し、
議案第34号は全会一致で原案のとおり可決した。

契約締結案 1件

議案第34号 富士川町消防団ポンプ車購入契約の締結について

消防団第3分団ポンプ車は、平成8年度購入した車両で30年経過することから新たに購入。

- | | |
|--------|-------------|
| ・入札の方法 | 一般競争入札 |
| ・納入期限 | 令和9年3月23日 |
| ・契約の相手 | 有限会社 中村ポンプ |
| ・契約額 | 25,998,960円 |

人事案 2件 (敬称略)

- 同意第3号
富士川町監査委員(議会選出) 堀内春美
同意第4号
富士川町公平委員 青木茂

一般質問

ズバリ!
聞きます!

動画はこちらから YouTube



通告一覧全ての問と答は掲載されておりません。二次元コード及びCATVをご視聴ください。

通告一覧

1 樋口 正彦 議員

- 人口減少時代の地域コミュニティ維持について

2 堀内 春美 議員

- 増穂商業高校跡地の活用について
- 林間学校の開設について

3 深澤 一幸 議員

- 町内体育館の保守点検と安全確保について

4 小林 和良 議員

- 学校体育館への空調設備設置の考え方について

- 広域行政の推進に対する考え方について

5 宇田川 朱恵 議員

- 自死対策について
- こども・若者世代の興味・関心を支える生涯学習の充実について

6 平田 桃子 議員

- 地域防災計画に関する町民への周知について
- 防災訓練のあり方について

7 山本 和志 議員

- 介護保険制度の給付事業(住宅改修・福祉用具購入)について

- 富士川町都市計画マスタープラン見直し改定の基本方針検討について

8 小林 有紀子 議員

- 「生命の安全教育」の推進について
- 災害に強い町づくりを目指して

9 斉藤 欽也 議員

- 民俗資料館(太鼓堂)の修繕について
- 青柳追分館の活用について
- 大法師公園の民間活力導入について

問 人口減少や高齢化が進む地域では、今後さらに担い手不足などが進んでいくことも考えられるが、町はどのように認識しているか。

課長 この状況が続くと、いずれ地域コミュニティを維持することが難しくなることが想定される。各自治会も地域の実情や時代の変化に対応した運営を行っているいただきたいと考える。農村RMOのような複数の自治会が協力し合う新たな組織のように時代に即した変化に合わせた活動に対



樋口 正彦 議員

し支援をする必要があると考えている。

問 地域コミュニティに関する課題共有や意見交換の機会は。

町長 地域コミュニティの抱える課題は、行政のみで解決できるものではなく地域の皆さんと、ともに知恵を絞りながら一緒に考えていく必要がある。これまででもほっとミーティングや町政懇談会などコミュニケーションをとる機会を作ってきたが、住民が主役となるまちづくりを形成するため、これまでの

問 地域コミュニティの維持は

答 意見交換の場をさらに構築する



地域コミュニティの維持が懸念
(平成26年天神中条区防災訓練の様子)

枠組みにとられない意見交換の場をさらに構築していく必要がある。さらに、区長会など、様々な団体と連携をしながら、誰もが参加しやすい体制が作れるよう研究していく。



問 県に提出した 要望書の結果は

答 創設検討を本格化すると 述べた

問 今年2月17日に、望月町長から長崎県知事に提出した要望書の結果は。

町長 増穂商業高校跡地について、若者の主体性を育む教育研修の場や、地域の歴史、文化、商業の学びを深める場、企業や団体の研修、合宿、交流の場、多世代の交流を生み出す、コミュニティの拠点等として活用することを要望した。これを受けて長崎知事は2月定例県議会の所信表明で仮称次世代支援センター創設検討を本格化させると述べた。

問 仮称次世代支援センター建設実現に向けて、今後町としてどのように進めていくのか。

課長 この重要な施設整備に対し、県と町および地域住民が一体となって検討を進めていくのが望ましいと考えており、最大限の協力をしていく。

問 仮称次世代支援センターに、増穂商業高校の創設者の功績を残すべきだと考えるが。

課長 増穂商業高校の創設者の多大なる功績を、後世に伝えることは重要であると考えて

いる。次の世代へと確実に受け継がれるよう県に対して、増穂商業高校の創設の歴史や経緯・文化・伝統などについて改めて説明していく。

問 林間学校を企画・開催することは。

課長 関係者と連携しながら実現の可能性について検討していく。



利活用が望まれる
旧増穂商業高校



問 どんな保守点検を しているのか

答 消防設備や電気設備は 業者に委託

問 町内体育館の設備について、現在どのような保守点検を実施しているのか。

課長 体育館を利用されている皆さまの安全を確保するため、法律に基づき消防設備や電気設備は専門業者に委託して保守点検を実施している。バスケットゴールなどの各種設備は、学校管理者が器具の目視確認及び動作確認を行っている。

問 近年、全国で体育館のバスケットゴールや高所設備の落下事故、床板の剝離による

事故が発生していることについて、町はどのように認識しているか。

課長 福岡県北九州市の学校体育館において、経年劣化やメンテナンス不足を原因とするバスケットボードの落下による負傷事故が発生している。また、令和6年度、東京都足立区の小学校では体育館床板の剝離による事故が発生している。町としても極めて重大な問題として認識している。

問 町内体育館についてバスケットゴールを含む設備の一斉点検を

実施する考えは。

町長 設備の安全維持というのは最優先事項だと認識している。現在も法令に基づき定期的に安全点検を実施している、落下の危険性のあるバスケットボード設備については、設置後長期間経過していることから、専門業者による点検を実施していく。



体育館のバスケットゴール



問 学校体育館・空調設備の性能目標は

答 夏28℃・冬19℃を目標に設計

問 学校体育館の空調設備は、どのような性能目標を設定し整備を進めていくのか。

を利用し満量時には、14日程度の連続運転が可能となる。

広域行政の推進に
対する考え方について

課長 国土交通省の基準を参考にし、外部温度を夏35・3℃、冬マインス4・5℃を条件としている。この条件を基に室温を夏28℃、冬19℃として能力を設定している。

問 停電時においても空調設備が継続運転できる体制は。

課長 自立運転型ガスヒートポンプエアコンを採用している。このエアコンは、停電時でもガスタンクのLPガス

問 人口減少や少子高齢化、人材不足や財政負担増が進む中、広域行政の必要性をどのように認識しているのか。

課長 昨今の人口減少や少子高齢化により単一自治体を維持していくことが、困難になると想定される。町にとつて、望ましい広域連携を模索していく。

問 新たに広域化や近隣自治体との共同化を

検討する行政分野があるのか。

町長 現在、新たに早川町と災害時の相互支援、広域的観光ルートの構築、イベントの相互協力、人材育成の共有などについて包括連携に向けた協議を進めている。

※自立運転型ガスヒートポンプエアコン：停電時でもガスの供給があれば自ら発電した電源で、空調を運転することが可能。



問 若者による選書会議の開催は

答 ワークショップの開催を検討

問 こども・若者世代に図書館にさらに興味・関心を持つてもらうため、若者による選書会議を開催できないか。

考えている。こうしたことから、まずは、選書体験ができるワークショップの開催について検討していきたい。

自死対策について

問 自殺対策の養成研修講座の拡充は。

答 町では自殺対策として周囲の方の気づきが重要と考えている。命の門番と言われている自殺対策の養成研修会、ゲートキーパー養成講座を毎年民生児童委員や愛育会、役場職員に実施してきた。昨年度は若年層も視野に

による選書会議を開催することは、利用率の低い若者世代の来館につながることや、図書館をより身近に感じてもらうきっかけとして非常に有意義であると



町立図書館の10代向け本棚



問 防災訓練を通じた新たな場作りは

答 継続的な取組みを調査研究する

問 新たに施行された町の地域防災計画の町民への周知方法として、町民一人ひとりの防災行動計画を、話し合いながら書き込む事で完成する「マイ防災ハンドブック」の様な、ハザードマップとは別の形式の物を作る考えはないか。

課長 現在のハザードマップにも、マイ・タイムラインという個別の避難方法などを記載出来る部分があるが、災害時の個別対応をより詳細に記載していくノート形式の物も有効であると考えている。調査

研究をし、取り入れられるかを検討する。

問 現在の各地区での防災訓練の現状や課題を、町としての様に把握しているのか。

課長 様々な事情で、地域の防災訓練に参加できない方が一定数いる事が課題であると考える。

問 現在の町の現状に合わせて、多世代が関わり、地域の繋がりを再確認出来る様な、防災を身近に感じられる取り組みは可能か。



考える書く書く
防災ノート作成
手引き事例
(出典 愛知県豊橋市)

課長 防災訓練の一環として、ワークショップなどを開催することは、自身が被災した場合でも、また支援する側となった場合も役に立つと考えられる。こうした取り組みを継続的に開催することが可能か調査研究していく。



問 介護保険給付方法の見直しは

答 より利用しやすい方法を検討する

問 介護保険給付の方法として、従来の「償還払い」に加えて、利用者の経済的負担を軽減することなどから、「受領委任払い」を追加し、選択できる給付制度とすることが望ましいと考えるが。

課長 利用者の一時的経済的負担を軽減し、金銭的手続きを簡素化できるメリットはある。一方、事前に協定を結んでいる受領委任払取扱事業者でなければ利用できないデメリットもある。今後は申請者や事業者からのニーズを聞き取り他の

都市計画マスタープラン改定状況は

問 上位計画に即した見直しに係る課題と検討内容は。

町長 国及び山梨県の関連計画、総合計画など各種上位計画との整合を図り検討を進めている。具体的には人口減少対策などさまざまな課題について整理を行う。

問 見直しの策定にあたり、検討の体制として、



介護保険による手すり、福祉用品の補助

課長 本年度内に有識者を含めた見直し検討委員会などにおいて、より多くの意見を集約する。
※都市計画マスタープラン…市町村の都市計画に関する基本方針

小林 有紀子 議員



問 「生命の安全教育」の推進は

答 指導の徹底に努める

問 国が性犯罪・性暴力対策として「生命（いのち）の安全教育」を推進。幼児期からの発達段階に応じた「生命を大切にする・加害者にならない・被害者にならない・傍観者にならない」ための包括的教育としての教材や指導の手引きの教員の研修は。

導するにあたり、歯止め規定への課題は。
教育長 学習指導要領には、小学校では人の受精に至る過程を、中学校では妊娠の経過は取り扱わない、との歯止め規定が維持され、指導が消極的になってしまふという指摘もある。

問 学校と家庭が一体となり、こどもを守る環境づくりは。
課長 啓発リーフレットの配布。学校だよりやPTA活動を通じて周知を図る。家庭や地域、警察と連携し、社会全体で子どもたちの安全を守る。

教育長 教育課程の位置づけを確保した上で、資料の再配付を行い、指導徹底、研修の深化に努める。

問 教員の多忙化解消と、歯止め規定への対応として、外部講師を派遣する体制の拡充は。
教育長 拡充に努める。



「生命の安全教育」小学生向け教材
引用：文部科学省HP

斉藤 欽也 議員



問 財政状況を踏まえた文化財保存を

答 現在地での保存活用が望ましい

青柳追分館利活用の再検討を

問 本年度当初予算に太鼓堂の改修工事費1期分5387万円が計上された。第3期の改修計画で1億5000万円以上かかる。移築を含む有効活用について議論したのか。

課長 令和10年度工事完了後も、現在地で引き続き民俗資料館として機能させていく。

問 今後の2期3期改修計画の内容と予算規模は。

課長 今年度、部分解体・調査を行い、来年度、再来年度で元に近い状態に戻す。

追分館は商店街の中心地として、20余年前に旧秋山邸を買収し

多額の費用をかけ整備した所である。この8年近くは施設貸付契約を結んだ状態で活用されていく。今後の対応は。

課長 施設の適正な有効活用が図れるように検討する。

大法師公園管理者の再公募を

問 民間認定事業者による公園管理計画の進



よみがえれ太鼓堂
130年前の姿へ

捗状況は。
課長 令和2年3月に認定した事業者からコロナの影響もあり、計画変更の申し出があった。変更内容の協議を重ねてきたが、事業辞退の申し出があり受理した。

問 再公募すべきと考えるが。
課長 新たな提案事業者があれば検討する。

議会だよりに皆さまの声を！

☆ 議会広報モニターとして8人を委嘱しました。 ☆

委嘱期間は、今回の65号から68号（令和9年3月議会）までとなります。

モニターの皆さんには、読みやすく、わかりやすい議会だよりになるよう、ご意見をいただきます。1年間よろしくお願いいたします。



井上 憲一さん



穂山 佳彦さん



長澤 千明さん



望月 正史さん



浅川 千穂さん



仙洞田 新さん



串田 裕梨さん



矢野 美紀さん

64号分

モニターさん
からのご意見

- 文字だけではなく画像が用意されていて、とてもわかりやすいです。これからも、いろいろな活動を紹介する広報に期待します。
- 町で新しい試みが始まっていますが、芯の部分で大切な部分も忘れずに、町の人たち皆でステキな町に、人と人が関わりあいながら育っていけばきっと良い未来になるだろうなとワクワクしています。
- モニターという初めての役割をやらせて頂きました。町政に目を向けるきっかけを頂きました。一年間ありがとうございました。

お知らせ

こども議会開催のお知らせ

7月 31日（金） 午後3時開始

場所：富士川町役場 3階議場

どなたでも傍聴できます。皆さまの温かい応援をお待ちしております。

※ 1階ロビーで駄菓子屋さんも一日限定オープンします。

お店めぐり

伝統と未来を紡ぐ

少子高齢化や人口減少が進むなかで、本町の持続的な発展には「歴史ある地域資源の継承」と「新しい人の流れ(移住・起業)の創出」の双方が不可欠です。町内で長年地域に愛されてきたお店と近年新しくオープンしたお店をご紹介します。

明治から紡ぐ職人の技。 町民に愛され続ける名物『甲斐玉』



明治36年 ちくりんどう
創業 竹林堂(鰍沢)

インタビュー：志村 武彦さん

初代が考案し120年以上愛されている黒糖風味の「甲斐玉」や、しっとりした風味の「富士川カステラ」舟運の歴史彩る「塩饅頭」など、山梨県を代表する名菓がズラリと陳列された店内。

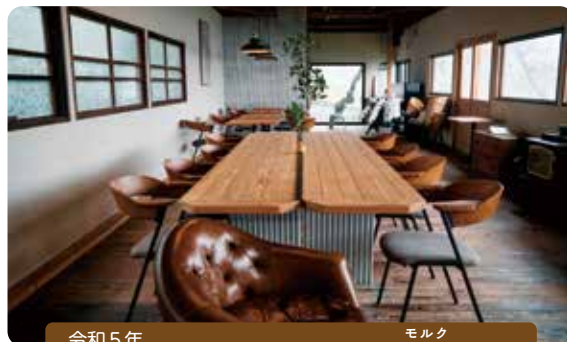
伝統を守り続けることのご苦労は?との質問に、「先祖代々受け継いできたただだ。ただお客様が、美味しいと言ってくださることが一番だ」と。多くを語らず淡々とされる姿は、まさに職人氣質。

町への要望は「商店がシャッター街になっていくのが、寂しい」と何度も。「企業誘致ができないか」と、老舗店だからこその実感が胸に迫る。

舟運により約300年前に栄え、物資や人が集まる河岸場として、商家が立ち並び流通拠点としてにぎわい、発展した「鰍沢」。その歴史と文化の商店街の伝統の灯を絶やまいと、家族一丸となって支えている。

ふるさと甲州鰍沢の心を伝え続ける伝統の和菓子。毎日、お客様に感謝し、つくりたてにこだわる頑固さを、今、しっかりと4代目に受け継がれている。

平林の絶景のなかで味わう、 できたて手造りチーズ



令和5年 モルク
オープン チーズ工房カフェ molq(平林)

インタビュー：横井 健児さん

平林を訪れた時に見た雄大な景色と、この土地の自然と人の温かさに惹かれ、いつの間にか、この町が大好きに。まだ富士川町を知らない多くの人たちの「富士川町と出会う入口」にしたい。

チーズは県内産の生乳を使い、一つひとつ手作業で製造。背景にある自然や風景、生産者の想い、人とのつながりも、チーズを通して山梨や富士川町の魅力として伝えたい。おすすめは、チーズピリヤニ。工房でつくるフレッシュチーズやブルーチーズも自慢。

「このお店があるから富士川町に来ました」と県外からのお客様、地元の子から店があるのが自慢だとのお声に感謝。多くの方に支えられて、人とのつながりこそが、仕事の原動力に。

チーズは、その土地の風土や食文化と結びつくことで、独自の魅力が生まれる。この地域に根付く食材や文化を大切にしながら、新しい食べ方や楽しみ方を提案している。

今後の目標は、この町で暮らす人たちが、誇りを持てる場所をつくり、未来につなげる。10年後も20年後も、この場所で皆さまをお迎えできる店で、あり続けたい。

今回の表紙写真は…

小室山妙法寺あじさい祭り準備中の 「穂積を育てる会」の皆さんです

30年にわたり妙法寺のあじさいを守り続ける「穂積を育てる会」剪定や施肥、草刈り、水やりなど地道な管理を重ね、減少したあじさいの復活と、ふるさとの宝を未来へ残す活動に取り組んでいます。皆さんのご尽力に感謝します。

